



錯覚科学への心理学的アプローチと 現象数理的アプローチ

第10回錯覚ワークショップ

時：2016年3月7日（月）、8日（火）

所：明治大学中野キャンパス6階研究セミナー室3（603号室）

共同主催：明治大学先端数理科学インスティテュート

科学技術振興機構CREST事業「数学」領域「計算錯覚学の構築」
参加費無料、事前参加登録不要（ご自由にご参加ください）

プログラム

3月7日（月）

13:00-13:50

田谷修一郎（大正大学 人間学部）「身体の制約と錯視」

14:00-14:50

山田 祐樹（九州大学 基幹教育院）「錯覚される感情」

15:10-16:00

四本裕子（東京大学 大学院総合文化研究科）

「知覚時間のゆがみを利用した時間知覚メカニズムの研究」

16:10-17:00

一川誠（千葉大学 文学部）「立体情報と時空間の錯視」

3月8日（火）

10:00-10:50

杉原厚吉（明治大学 先端数理科学インスティテュート）

「錯覚美術館運営体験記 ～うまくいった幸運はどこから来たのか～」

11:00-11:50

須志田隆道（明治大学 先端数理科学インスティテュート）

「明暗の錯視を説明する数理モデル」

（昼休み）

13:30-14:20

藤堂英樹（東京大学 大学院総合文化研究科）

「リライトングに向けた2次元イラスト画像の陰影推定」

14:30-15:20

福地健太郎（明治大学 総合数理学部）「錯覚と『叙事的』インタラクション」

15:40-16:30

寺前秀一（人流・観光研究所）

「ピカソの贋作は本物を上回るか～人流概念の提唱～」

連絡・問合せ先：明治大学先端数理科学インスティテュート

「現象数理学」共同利用・共同研究拠点事務室

電話：03-5343-8067, 電子メール：mims@mics.meiji.ac.jp